



A O B A N O K A Z E

あおばの風

第67号

青葉区民生委員児童委員協議会



民生委員児童委員は、あなたと関係機関をつなぐパイプ役です

民生委員児童委員制度

もうすぐ100年

育児のサポート

子育て相談

自治会・町内会への協力

その他の地域活動

日常生活の困りごと

高齢者の見守り

詳しくは
中ページへ

この広報誌は、区役所や地域ケアプラザにあります

* 発行人 青葉区民生委員児童委員協議会会長 赤塚由子 * 事務局 青葉区福祉保健課運営企画係 TEL 045-978-2433
<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/00life/06fukushi/minsei.html>

回																			
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

承認
青葉区第 11 号

民生委員サントラ 主任児童委員サントラから あなたへプレゼント!

子育て 教育
福祉 障害
高齢 介護
防災 地域活動

さあ、悩み解決の
手伝いに行こう!

育児のサポート
子育て広場の開催と
赤ちゃん訪問をしています
(育児教室もあります)

悩みもあるけど
助けあおう!

子育て相談
子どもの成長発達に伴う悩み
いじめ・虐待の疑いなど
ご相談は主任児童委員に
お知らせください

みんな、おいで!

高齢者の見守り
安否確認や定期訪問をします
介護や介護保険、日常生活の困りごと相談は
地域ケアプラザなど、関係機関につなげます

日常生活の困りごと

暮らしの費用や就学援助など、福祉のことは
区役所や社会福祉協議会をご紹介します
申請のサポートや調査票の発行をします

やあ、
元気そうじゃないか

★みんなのために
がんばるんじや!

自治会・町内会への協力

防災訓練や自治会の行事などに
参加協力しています

その他の地域活動

高齢者お食事会
シニアサロン、異世代交流
子育て広場、体操会などなど
民生委員主催の活動も
たくさんあります

民生委員 誕生物語



自治会・町内会で候補者を絞る



地区の推薦委員会を開く



市と厚生労働省から委嘱



★民生委員児童委員誕生!

★次回の一斉改選は
平成28年12月1日です

【民生委員児童委員】(民生委員と略されることもあります)

生活や福祉全般に関する相談・支援活動を行います

【主任児童委員】

児童福祉に関する相談や関係機関をつないで支援します

- ・民生委員法の規定により、給与は支給されません
- ・任期は1期3年で、区の定員は331名です
- ・1人で約400世帯を受け持っています

お問合せ：青葉区福祉保健課運営企画係
TEL 045-978-2433



@wanpug

赤い羽根共同募金
協力
10月1日

青葉区民まつり
11月3日

詳しいレポートは
4ページに掲載
青葉区社会福祉協議会
会員研修 in 福島
平成27年9月17・18日

《青葉区認知症フォーラム》 平成27年9月30日 青葉公会堂

「認知症」自分になったら…家族になったら…
～地域で支え、自分らしく暮らし続けるために～
認知症のひとつであるレビー小体型を発見した小阪憲司氏により、
もの忘れだけではなく多様な症状の認知症について講演会が行われ
ました。

日本では、65歳以上の5人に1人が認知症といわれており、高齢
化が進むにつれ、ますます認知症は増えてゆくという。
小阪氏は「早期発見・適切な治療・介護が行なわれることで状
況が良くなる患者さんが少なくありません。“おかしい…?”と
思ったら、即座に医師への相談をお勧めします」と話されました。

●小阪 憲司 氏

精神科 医師
横浜市立大学名誉教授
医療法人社団folkモア
クリニック医庵 センター南



主任児童委員だより

こどもの心と体を守ろう ストップ・ザ・犯罪 第17回講演会 2015.7.8

子どもを犯罪の被害者にも
加害者にもしない子育て

NPO法人日本子育てアドバイザー協会
幸島 美智子 氏



子どもには自分の身は自分で守ることを教え、私たち大人は地域でのパトロールなどで防犯意識の高さをアピールする。犯罪から守るためにできることは何か、幸島美智子氏の講演を聴きました。

①いじめ問題への対応

子どもがいじめの加害者にならないためには、「卑怯なことは大嫌い」と伝え続けることが大切です。過干渉にならないこと、そのままの状態の子どもを受け入れることも大事です。イラッとしているように見えたら深呼吸を。

②ネット・ケータイの問題点と対応

SNSの問題や個人情報流出、詐欺・有害サイトへのアクセス、ネット依存症等を防ぐには必ずフィルタリングをかけるようにする。スマートフォンを持ったなら、アメリカで話題になった「スマホ18の約束」を参考にして家庭内でのルールを決め上手く使う方法を考えたり、私たち大人が率先してネット・スマホと真逆のこと（本を読む、字・手紙を書く



等)を心がけたりしましょう。

③虐待への対応

言葉の暴力だけでなく、子どもの前での夫婦喧嘩も心理的虐待になります。また性的虐待は脳への影響が強いと言われています。虐待が疑われたらまず当事者に声をかけるだけでも抑止力に。

子どもの発達段階は親のかかわりが大きく影響します。子育ての最終目標は「自立・自律した大人として社会に送り出す」こと。そのためには10歳まではスキンシップを大切に、「ありがとう」の言霊(ことだま)がいかせるよう、感謝できるシチュエーション作りを。

一人の親としてはもちろん、主任児童委員として、子どもとの関わり方を再認識した講演でした。私たち大人が本気で子どもたちのことを思い、真の愛情を持って接することの大切さを感じました。

(山内地区 西家かすみ)



「線量計」、「フレコンバック」、「ビックパレット福島」…この言葉を覚えていますか？

震災から4年半。復興が進んでいる所とそうでない所、故郷に戻りたい人と戻ることをあきらめた人。3回目となった研修は、報道の中で埋もれてゆく「人々のこころをあらためてすくい上げ、伝え続けること」の大切さを教えてくれた。
(平成27年9月17・18日)

1日目…仮設住宅内の『おだがいさまセンター』(富岡町社会福祉協議会)で富岡町の方々から震災から4年半が経過した生活の様子を聞いた。

【社会福祉協議会のお話】

- ・避難所ではルール作りを徹底(特にトイレ)、そして女性専用スペースの確保が大事
- ・1年先・5年先も考えなければならないが、「明日、これをやりましょう」という目先の活動も支えになる

【被災者のお話】

- ・生活はだいぶ落ち着いたが、先のことを考えると気持ちは未だに落ち着かない
- ・故郷の景色や生活がすっかり変わってしまったことを多くの人に伝えてほしい

2日目…バスに乗り込み、富岡町を視察。町は、『帰宅困難区域』、『居住制限区域』、『避難指示解除準備区域』に分かれ、対応や補償がそれぞれ違うという。語り人は、「ひとつの町なのに…」という複雑な思いを抑えて、線量計を片手に明るい声で話をしてくれた。

除染作業などのために車が走り、信号も動いている。人もいる。でも、生活している人はいない…。

町を歩くと、跡形もなく撤去された富岡駅舎の向こうには青い海が広がっていた。そして、少し手前には除染土などが入った無数の黒いフレコンバックが、まるで防波堤のようにきれいに積み上げられていた。

(青葉台南部地区 山市 典子)

青葉区社会福祉協議会 会員研修in福島

編集後記

67号担当

今号は自治会・町内会回覧です。民生委員児童委員の役割を楽しい紙面でお届けします。

広報部代表 豊崎 智子

雨宮 量夫 大原 義男 貞方 良子 田川 みちこ
長倉 奈知子 服部 史枝 村上 希史子
山市 典子 山内 サカエ 渡邊 順子